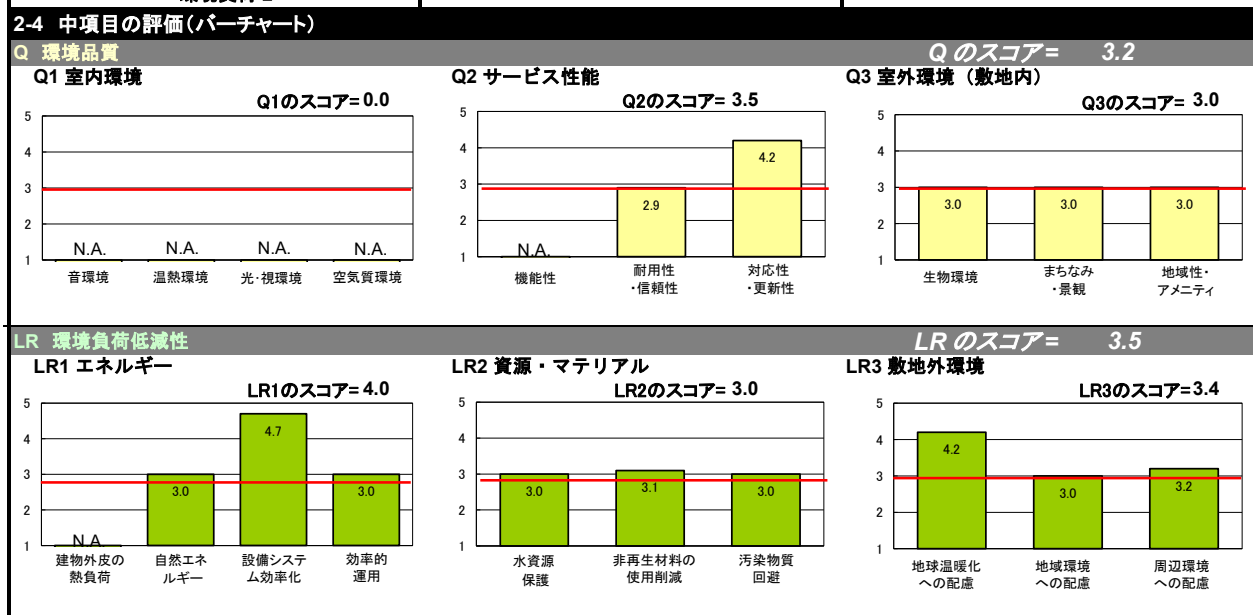
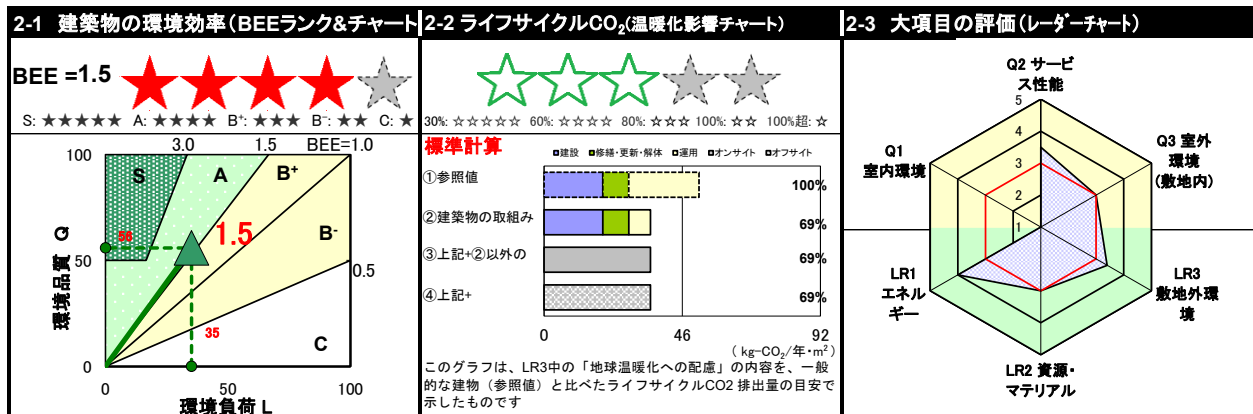


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_通称版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)機エムズコーポレーション猿ヶ島物流倉庫新築PJ		階数	地上2F
建設地	神奈川県厚木市猿ヶ島字竹ノ内35番1ほか6筆		構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし、法22条区域		平均居住人員	30 人
地域区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定		評価の実施日	2026年1月29日
敷地面積	8,741 m ²		作成者	(株)小島組
建築面積	3,469 m ²		確認日	2026年1月29日
延床面積	6,758 m ²		確認者	(株)小島組



3 設計上の配慮事項		
総合 建物を南側に寄せ前面に空間を広く確保することで、周辺への日影に配慮した。		その他 敷地面積の20%以上の緑地面積を確保し、周辺環境と調和が図れるように配慮した。
Q1 室内環境 -	Q2 サービス性能 階高は3.9m以上。 壁長さ比率は0.1未満。 倉庫部分床荷重は4,500N/m ² 以上。	Q3 室外環境(敷地内) -
LR1 エネルギー BEI=0.31	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材等が容易に分別可能とすることで、資材の有効活用に繋がるように配慮した。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=69%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される